

学報

CONTENTS

- 1 聖書のことば
- 2 特集 **ホームカミングデー
聖灯祭**

学報 Vol.46 2015年12月
SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY REPORT

発行者 聖隷クリストファー大学 <http://www.seirei.ac.jp>
〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406

聖隷医療福祉の総合大学
聖隷クリストファー大学



- 5 就職支援
- 7 クリストファーニュース
- 9 聖隷学園だより
- 11 後援会から
- 12 研究助成
- 13 私の教育・研究
- 14 健康管理センターより
新任教員の紹介

裏表紙 国際交流レポート
著書紹介

国際交流レポート

シンガポール・ナンヤン理工学院との相互交流プログラム 海外実習



本学とナンヤン理工学院(NYP)は、将来国際社会で活躍できる保健医療福祉の専門職の養成を目的に、交流協定に基づき実習生の受入・派遣を相互に行っています。実習では、現地の医療福祉施設などで通訳を介さず、直接看護師や療法士の方々から指導を受けるため、より専門的な知識と自らを表現できる高いコミュニケーション能力が求められます。

今年度は9月7日～18日まで、本学看護学部の4年次生2名がシンガポールの総合病院などで実習を行いました(写真左)。また、NYPの看護学科からは8月31日～9月30日まで、3年次生2名が来学し、聖隷浜松病院や聖隷三方原病院など聖隷関連施設の協力のもと実習を行いました(写真右)。双方の学生共に、実習を通して、国による医療制度の違いや看護実践、その背景にある価値観について学びました。



NYPからの看護実習生(浜名湖エデンの園にて)

シンガポール研修

9月5日～13日、ナンヤン理工学院(NYP)にて実施したシンガポール研修に20名(看護学部生12名、リハビリテーション学部理学療法学科生1名、作業療法学科生4名、社会福祉学部社会福祉学科生1名、子ども教育福祉学科生2名)が参加しました。この研修は、シンガポールの保健医療福祉施設の訪問見学だけでなく、両校の学生の合同演習体験や授業見学、学生交流会など、同じ専門職を志す同世代の学生との交流プログラムが多く組まれていることが特徴です。



シンガポール到着初日、本学に6月に来学したNYPの学生達(約20名)が空港まで迎えに来てくれました。

学生達は渡航前に全5回の事前研修に参加し、シンガポールと日本の保健医療福祉制度や専門職の役割などについて勉強したうえで本研修に参加しましたが、実際に現地の教員による講義を受け、自分の目で病院や福祉施設を見学することで、より深く理解することができました。また、言葉の壁を感じながらも英語で自己表現を試み、NYP学生宅でのホームステイや学生との交流などを通して、国際交流の楽しさを感じていました。

2016年3月にはNYPから22名の研修生が来学する予定であり、更に両校の学生交流の輪が広がっていくことを期待しています。

著書紹介

『看護コミュニケーション 基礎から学ぶスキルとトレーニング』

医学書院 2015年1月
著：篠崎 恵美子 / 藤井 徹也



著者：看護学部看護学科 教授 藤井 徹也

本書は、看護師に求められるコミュニケーションの知識と実践能力を修得するためのテキストとして執筆した。看護を学ぶ初学者が理解できるように3部で構成し、内容は可能な限りイラストや事例を示し解説している。第1部「コミュニケーション論:3章」ではコミュニケーションの基本的技術、第2部「看護におけるコミュニケーション技法:6章」では看護の専門家として必要な技法、第3部「高度なコミュニケーション:3章」では実際の看護場面で遭

遇することが予想される困難な状況の対応方法を解説している。第1～3部の各章には、学修目標を設定し、章の終わりには確認テストを用いて学びを把握できる。さらに学修を発展するために参考文献を各章ごとに紹介し、「著書紹介」本文で説明が必要な言葉は「word」や「コラム」で詳細に説明している。看護コミュニケーションは、知識のみでなく実践能力が必要であるため、ロールプレイ用のシナリオを掲載している。

学報へのご意見・ご感想をお寄せください

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えております。ご協力をお願い申し上げます。

学報アンケート

→ <http://blg.seirei.ac.jp/d/>
携帯電話からもアクセスできます



聖書のことば

ひる 怯む必要はありません

ローマの信徒への手紙 5章 1-5節

エルサレムにあるゴルゴタの丘から歩み出したイエスの教えは12弟子とさまざまな人々の協力により、世界の中心であったローマへ齎されていきました。普遍的な愛の教えであるにも拘らず、その道程は決して平穏な歩みではありませんでした。終始、迫害に次ぐ迫害を経るなかでローマへと辿り着くことができたのです。ここに奇しき神の経緯を見出すことができます。

神の召しの先行と崇高なる志をもって三方原の地に集う学生たちは、学びと技術習得のために日々勉強しています。彼らは時満ちて、医療福祉の専門職者として、現実世界へと出立していきます。彼らは学修した知識と業を通して多くの人々を慰め癒し、希望や喜びを届ける奉仕者となっていきます。

時として、努力する学生たちの前には様々な誘惑や試練が立ちまはるだけ、彼らの歩みを阻もうとすることでしょう。しかし、怯む必要はありません。

嘗てキリスト教の迫害者でありながら、後に世界宣教の先導者となっていったパウロは、イエスとの出会いの経験を通して「苦難をも誇りとします。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」という確信を述べています。更に、人は誰でも思い煩うことを止めて、感謝をもって神に祈り願うならば、その時「あらゆる人知を超える神の平和(フィリピ4章4節～)」がすべての人の心を守ってくださる、と自らの信仰経験を通して力強く証言してくれています。

神に信頼する人、苦難をもって精錬される人は必ず道が備えられ、さらに豊かに成長していく、というのです。

聖隷学園宗教主任 永井 英司

特集

ホームカミングデー

HOME COMING DAY 2015



11月7日、ホームカミングデーと聖灯祭を同日で開催しました。ホームカミングデーは、短期大学、ヘルパー学園、専門学校、大学学部・大学院すべての卒業生・修了生の皆様に母校に戻り、本学の現在の様子を知っていただき、仕事や研究・研修の拠り所として、また保健医療福祉の最新情報や人材情報の交換拠点として母校を活用していただきたい、そして同窓生、先輩・後輩と旧交を温め、教職員と交流していただきたいと考え開催しています。

9回目を迎えた今年は、341名の卒業生・修了生にお越しいただきました。



17時からは会場をオークラアクティビティホテル浜松に移し、パーティを行いました。

領域ごとの 交流会・ 勉強会



看護系



社会福祉系



リハビリテーション系

参加者より

藤野 有美子さん

聖隷学園浜松衛生短期大学
第一衛生看護学科
1995年度卒業



今回、ホームカミングデーに初めて参加しました。友人と語り、お世話になった恩師と再会し、あの時に戻ったかのような懐かしい時間を過ごすことができました。このように恩師や卒業生が集まる機会があることは、とても貴重なことです。参加したことのない方、次回はぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれません。

鈴木 健太さん

社会福祉学部
(社会福祉専攻)
2005年度卒業



社会福祉系の交流会・勉強会は、昨年度までとは形を変え、卒業生同士が話し合い、悩みを解決できるような内容を考えました。「あなたの想う理想の上司・先輩になるには…」をテーマに、経験年数ごとにグループワークを行いました。会の終了時には、新人職からリーダー職まで、お互いの想いが伝わったと実感することができ、有意義な時間を過ごすことができました。

久保 光正さん

リハビリテーション学部
(理学療法専攻)
2011年度卒業
大学院リハビリテーション科学研究科
2013年度修了



リハビリテーション領域では、「あの授業をもう一度」をテーマに交流会・勉強会を行いました。多くの卒業生と先生方の白熱した講義により、実りのある会となりました。パーティでは先生方や先輩・後輩たちと話すことができ、有意義な時間を過ごすことができました。ホームカミングデーは卒業生と大学が繋がる拠り所として大変重要な行事であると感じました。

ホームカミングデーを終えて



ホームカミングデー実行委員長 片桐 雅子 聖隷学園浜松衛生短期大学 第二衛生看護学科 1975年度卒業

多くの卒業生・修了生の方々にご参加くださり、ホームカミングデーを無事に開催することができ、皆様に感謝いたします。同窓生と共に聖隷歴史資料館を訪れ、新約聖書ヨハネによる福音書13章『隣人愛』に触れ、あらためて「はじめに大きな愛」があったことを実感しました。聖隷で学び歩んできた過去を振り返り、身を以て看護の崇高さと困難さを教えてくださった長谷川保先生の姿を思い出します。久しぶりに訪れた母校は、校舎の面影こそなくなりましたが、地域の皆様そして学生さんたちの熱気で溢れ、童心にかえって楽しむことができました。領域ごとの交流会・勉強会では先輩・後輩・諸先生方との大変貴重な時間を持つことができました。

聖灯祭

SEITOUSAI 2015



聖灯祭をふりかえって

聖灯祭実行委員長 **梶間 隆思** リハビリテーション学部2年次生
町田 也瑛 看護学部2年次生

今年の聖灯祭のテーマ「瞳～童心にかえって～」は、一年に一度しかない聖灯祭を子どもの頃のように目を輝かせながら楽しんでほしいという思いから決定しました。当日は天気にも恵まれ、老若男女問わず多くの方が足を運んでくださいました。準備の段階での、他学部の学生や学外から出店して下さる方などとの連携は大変でしたが、そのような苦労を超えたことで達成感、楽しさが得られ、多くの皆様の笑顔があふれる聖灯祭になったのだと実感しました。

最後になりますが、聖灯祭にご来場くださいました皆様、そしてご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

健康祭

看護学部、リハビリテーション学部各学科が健康祭を行いました。日頃の学びを活かし、健康に関わる情報を参加者に楽しくお伝えしました。



看護学部 / 血圧測定体験



作業療法学科 / 自助具を用いた豆づかみ体験



言語聴覚学科 / 嚥下困難者用スプーンでの食事体験

子育て広場 たつくん

社会福祉学部こども教育福祉学科は地域のお子様を対象に子育て広場を行いました。



模擬店

サークルや有志の学生による出店のほか、近隣施設の方々や教員によるバザーなど、学内のいたるところで模擬店が開かれました。



チャリティーバザー



毎年人気の茶道部によるお茶会



作品の展示とプラバン作り体験



近隣の施設の方々の絵画展示

野外ステージ

ステージプログラム

- ブラスバンド
- ハンドベル
- 琴
- ピアノ
- ダンス
- 軽音楽



中庭に特設したステージでは、演奏やダンスなどの発表が行われ、観客からはたくさんの歓声があがっていました。



地域貢献事業研究発表会



2014年度に実施した地域貢献事業研究について、各研究代表者がプレゼンテーションをしました。



プレゼンテーションの合間のミニコンサート

後夜祭もステージ発表やビンゴ大会で大盛り上がり。

後夜祭





2015年度就職内定状況

2015年度に卒業・修了する学生の就職進学希望者は12月1日現在363名で、就職内定と大学院・助産学専攻科などへ進学が決まった学生の人数は307名、内定率は84.6%になります。リハビリテーション学部、社会福祉学部の未内定の学生は、採用選考の途中であり、結果を待っているところです。

また、求人の時期が遅い社会福祉学部の精神保健福祉や児童福祉関係、リハビリテーション学部の小児・発達領域を希望している学生は、希望領域の求人が出るのを待ち、就職活動をしていきます。

	卒業 予定者数 (名)	就職進学 希望者数 (名)	就職 内定者数 (名)	大学院・ 助産学専攻科等 進学者数(名)	内定率 (%)	
看護学部	156	156	143	10	98.1	
助産学専攻科	17	17	17	0	100.0	
社会福祉学部	社会福祉学科	41	40	27	1	70.0
	介護福祉学科	13	13	11	0	84.6
	こども教育福祉学科	35	34	27	0	79.4
リハビリテーション学部	理学療法学科	39	39	33	0	84.6
	作業療法学科	34	34	27	0	79.4
	言語聴覚学科	30	30	11	0	36.7
大学計	365	363	296	11	84.6	

2015年度求人状況について

職種/求人 数(12/1現在)	全国	静岡・ 愛知(東三河)
看護職	19,897	1,858
福祉職・介護職	3,124	846
幼稚園教諭・保育士	2,764	525
理学療法士	2,271	219
作業療法士	2,373	198
言語聴覚士	1,112	94

本学に届いた求人票の求人数です。看護職、幼稚園教諭・保育士の求人票が例年より多く届いています。介護職、リハビリテーション職も昨年同様、多くの求人をお願いしています。

求人や採用情報に関する情報は、大学に届く場合と、病院・施設のホームページに掲載される場合があります。学生には、求人票が大学に届いていない場合は、ホームページを見たり、直接問い合わせをするなど、志望している病院・施設の情報を随時チェックするように勧めています。

就職活動・就職支援

就職活動開始時期の変更が、学生にどのような影響があるのかなどについて、各学部の就職委員の先生にお話を聞きました。

看護学部



就職副部長
准教授
黒野 智子

Q 専門職の就職活動にも影響があるのでしょうか。就職活動はいつから始めて、どのように進めるのか教えてください。

A 看護師、保健師、養護教諭の採用試験の時期に関しては、今までと特に変更はないようです。看護師は多くの求人があります。定期の採用試験終了後でも、随時試験を実施するところもあります。4年次生の看護実習終了後も、まだ就職先のイメージがつかめないうちは、焦らず、その時期からでもインターンシップ制度を利用して、自分に合う病院かどうかを見極めるようにと伝えています。ただし、小児や精神の専門病院では、希望者数が多い

年もあり、第1希望として決めている学生には、7月頃の採用試験を受けることを勧めています。

保健師の採用試験は、6月にエントリーして7・8月に試験を実施するところが多く、今までと大きく変更はありません。養護教諭の採用試験の時期も、今までと変わらず、7月から始まります。

また、7月に採用試験を受けようと思っている学生は、エントリーシート・履歴書を4月中に準備し、教員や就職センターの添削を受けて、5月の連休明けの実習が始まる前までにほぼ完成させ、余裕を持って臨むようにと伝えています。

Q 1年次生から4年次生までの就職支援の内容について教えてください。

A 保健師課程は1年次生春 semester に、養護教諭課程は採用試験受験希望者のみ2年次生秋 semester にガイダンスを行います。

3年次生の11月から4年次生4月にかけて、「4年次生による就職活動報告会」、「卒業生との懇談会」、「学内病院説明会」などを開催します。

社会福祉学部



就職副部長
こども教育福祉学科 教授
坂本 道子

Q 専門職の就職活動にも影響があるのでしょうか。就職活動はいつから始めて、どのように進めるのか教えてください。

A 社会福祉分野には、実質的な影響はありません。社会福祉の専門職への道は、4年次生で思い立って、すぐに切り開かれるものではありません。1年次生からの毎日の授業の積み重ねが「専門職」へとつながります。日々の学びや実習を通して、「自分は将来何をしたいのか」と問いかけ、充実した大学生活を送り、「人間性」を育み、「専門職」としての「自分」を形成すること。これらがすべて就職活動になります。

Q 1年次生から4年次生までの就職支援の内容について教えてください。

A 各学年ともに、各 semester の初めのガイダンスで、就職委員と就職センターから、その学年ごとの就職活動の課題と支援内容を学生に説明しています。特に1年次生は、入学時の「フレッシュマンセミナー」の中で4年間の就職活動のイメージがつかめるように丁寧に説明をしています。また、日々の授業を通して「キャリア」をどのように積み上げるかについて講義をしています。

2年次生以降は、希望者に「公務員講座」を開講しています。3年次生秋からは「就職先研究」として大規模社会福祉法人をはじめ、公務員、各領域の施設職員、各資格取得者の先輩の話や、4年次生の就職活動の話などを聞く機会を設定しています。これらに学生が主体的に参加し、自分が働く姿をより具体的にイメージできるよう支援をしています。

4年次生にはメールなどで求人情報を直接情報提供し、教員と就職センターでエントリーシート・履歴書の添削や模擬面接など、個別指導を行っています。

リハビリテーション学部



就職委員
作業療法学科 助教
建木 健

Q 専門職の就職活動にも影響があるのでしょうか。就職活動はいつから始めて、どのように進めるのか教えてください。

A リハビリテーション分野において影響はありません。例年通り4年次生の8月頃から本格的に就職活動が始まります。就職活動をするにあたって、自分の就職したい職場を、自分のやりたいこと、地域、先輩の有無、職場の教育体制、給与と様々な側面から自分に合う職場選択をすることになります。学生には、就職先を決める前に病院見学をし、職場の雰囲気や考え方を直接聞いて、自分に合う進路選択をするように伝えています。教員と就職セン

ターがサポートする体制を整えており、相談をしながら進路を決定できるようにしています。

Q 1年次生から4年次生までの就職支援の内容について教えてください。

A 1年次生からキャリアアップのためのプログラムが用意されています。実習などもありますので、教育課程(カリキュラム)の中で、専門職としてのキャリアアップは自然と図れてくるようです。2、3年次生になってくると、卒業生による『専門職として働く意義』について知るプログラムや、先輩から就職活動の報告を聞くプログラムなど、より現実的に専門職として就職することについて考えられるような機会を設けています。

また、4年次生の8月には学内で「病院・施設説明会」を開催し、多くの病院や施設の説明や求人情報について知るプログラムを実施しており、多くの学生がこの説明会を機に就職活動に向けて活動を本格化していきます。

2016年度からの入学定員の変更について

2016年度より看護学部看護学科、社会福祉学部介護福祉学科およびリハビリテーション学部理学療法学科の入学定員を変更します。

看護学部 看護学科	145名から150名に変更、3年次編入学定員5名を廃止
社会福祉学部 介護福祉学科	40名から25名に変更、新たに3年次編入学定員10名を設定
リハビリテーション学部 理学療法学科	30名から40名に変更



看護学部

学部長 山下 香枝子

看護学部はこれまで社会のニーズに応じて、「看護を大学で学びたい」と希望する看護短大卒あるいは看護系専修学校修了者のために、編入学制度を設けて大学への門戸を開いてきました。しかし昨今は、編入学制度を利用する受験生が減少してきました。そのため、本学では編入学制度を廃止し、それまで編入学制度で募集していた5名を一般入試の募集人数に加えて、入学定員を145名から150名に変更しました。その背景には、現在の看護師不足に対して「1人でも多くの優秀な看護師を社会に送り出してほしい」と強い要望を持つ病院や高齢者ケア施設に応えたいという考えがあります。学部が一体となり、「自分で考え、誠実に行動できる看護師」の養成に取り組んでいきます。



社会福祉学部

学部長 横尾 恵美子

聖隷学園では、超高齢社会の中で豊かな高齢者を支え、社会に寄与するために、聖隷の歴史を受け継ぎ、建学の精神である「隣人愛」の精神を持った人材を養成する多様な介護福祉教育を展開していきます。本学社会福祉学部介護福祉学科の入学定員を40名から25名とし、新たに3年次編入学定員10名を設定します。併せて2016年度からは入学定員40名の聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校を開設します。実践力に優れた人材を養成する2年制の介護福祉教育と介護福祉領域のリーダーを養成する4年制の介護福祉教育を実施し、専門学校などで介護福祉士資格を取得した学生の更なる学びを深めるために3年次編入学制度を利用してほしいと考えています。



リハビリテーション学部

学部長 大城 昌平

理学療法士は、疾病・障害の予防と発症から家庭生活、社会への復帰までの過程に携わる、重要なリハビリテーション専門職です。今後益々少子高齢化が進展し、疾病構造が変化するなかで、理学療法士に対するニーズも複雑・多様化し、職域も広がってきています。社会は、豊かな人間性と高度な知識・技術を有する理学療法士を求めています。本学卒業生並びに大学院修了生は、それぞれの病院・施設などにおいて真摯に活躍し、高い評価を得るまでに成長しています。そのような社会の要請に応えるため、入学定員増を行い、教員を増員して教育環境を更に充実させ、聖隷の「隣人愛」の精神と高いレベルの知識と臨床技術を有し、社会に貢献する理学療法士の養成を目指します。

第三軍医大学(中国)と大学間交流協定の更新をしました



交流協定更新の調印式の様子

9月28日、第三軍医大学(中国重慶市)より、王副学長を代表とする4名の方が来学し、本学との間で大学間交流協定を更新しました。

第三軍医大学と本学は、2004年9月に交流協定を締結しましたが、今年は締結後10周年を迎え、3回目の交流協定書の更新をする運びとなりました。調印式では、これまでの両大学の交流を振り返りつつ、今後新たにどのように交流を深めていくかなど、将来的な発展について活発な意見交換が行われ、前向きな考えを共有することができました。

この度更新された交流協定により、今後の両大学での教育・研究の交流がますます促進され、両大学の発展に寄与することが期待されます。

2015年度 公開セミナー・公開講座 実施報告

専門職対象
公開セミナー

対人援助の現場で活かすリーダーシップを磨こう ～コーチ型リーダーシップを身につけよう!

[6月20日(土)実施]



講師として生利喜佐男氏(コミュニケーション・ホーム喜舎代表/医療分野専門人材育成コンサルタント)をお招きし、現在注目されているコーチ型のスキルを身につけることに焦点を当てた内容で講演および演習を実施しました。演習では、参加者同士のロールプレイなどが行われ、会場は活気と熱気にあふれていました。保健医療福祉の専門職の方が約100名参加し、「セミナーを聞くだけでなく、多職種の方との実践の場があったので緊張したが勉強になった」という意見や「テンポの良いお話とにぎやかな演習で楽しかった」という声が寄せられました。

専門職対象
公開セミナー

基調講演「発達障がい児者の家族支援の効果と課題」 シンポジウム「家族会活動の過去・現在・未来」

[7月25日(土)実施]



第1部は浜松市発達相談支援センタールピロ所長の内山敏氏による基調講演、第2部はシンポジウムを実施しました。基調講演では、障がいの分類や家族のライフサイクルに関する統計を交えた客観的な視点と共に様々な事例をご紹介いただきました。その後、シンポジストとしてお迎えしたアクティブ代表の村松良子氏、浜松市浜松手をつなぐ育成会会長の小出隆司氏、静岡県自閉症協会会長の津田明雄氏が加わり、発達障がい児者の家族会活動について具体的な活動や家族ならではの視点などについて意見交換を行っていただきました。保健医療福祉の専門職の方が約100名参加し、聴講後は活発な質疑応答が行われました。

一般の方対象
公開講座

認知症対応セミナー ～はじめての一步～(全2回)

[9月17日(木)・26日(土)実施]



第1回は「認知症の初期症状を持つ方々への対応のありかた～介護者の体験している世界、眺めている風景に焦点を当てて～」と題して、本学看護学部の入江拓教授が初期の認知症に対する対応方法の理解と日常の困りごとへの対処方法などを、多くの事例を紹介しながら講演しました。第2回は「社会資源の紹介」と「アロマを用いた手浴・ハンドマッサージの紹介」を本学看護学部の入江晶子准教授と非常勤講師の大石恵美子先生が講師となり、講義と体験を含めた講座を実施しました。参加者からは、「体験談が織り込まれていてわかりやすかった」、「認知症に対しての理解が深まった」という声が寄せられました。

ハンドマッサージの紹介

一般の方対象
公開講座

労働人口激減社会で生じているメンタルヘルス問題の現状 ～職場でできることから～

[10月17日(土)実施]



第1部は、株式会社スノーム代表取締役の白石みどり氏を講師に迎え、職場におけるメンタルヘルス問題の現状や事例、今後中小企業に対して義務化されるストレスチェックを視野に入れた内容の講演を行いました。第2部では、本学リハビリテーション学部作業療法学科長の新宮尚人教授が「職場におけるメンタルヘルス 自己コントロール獲得へのヒント」と題して、専門知識を基に心の健康のケアおよびセルフケアについてお話ししました。メンタルヘルスに関する課題は大きな社会問題であり、多くの参加者から「大変に参考になり有意義だった」という声が寄せられました。

聖隷クリストファー中・高等学校

吹奏楽部、活躍中です!

聖隷クリストファー中・高等学校吹奏楽部では、部員同士の絆を深め合うことを常に意識して活動を行っています。

合言葉は「人正しからざれば、音正し



近隣施設(エデンの園)での演奏会

からず」。演奏技術のみならず、人間性の向上も目標とする気持ちを込めた言葉です。今年のコンクールは、西部大会にて金賞、県大会にて銀賞を獲得しました。残念ながら東海大会への出場は逃してしまいましたが、この悔しさをバネに来年へと既に目を向け、向上心をもって活動中です。もちろん、日々の練習やコンクール以外での演奏にも全力投球です。夏の野球応援、近隣の施設や地域の皆様をお迎えてのミニ

コンサート、福祉施設に出向いての慰問演奏や各種施設イベントへの参加など、どのような場面でも目の前のお客様と向き合い、楽しんでいただけるように心を込めて演奏しています。

今後も皆様楽しんでいただけるような演奏を心がけて参ります。ご支援のほど、宜しくお願いいたします。



アメリカから留学生をお迎えしました!

「はじめまして。私の名前はマディセン・リーン・ジーマーマンです。マディと呼んでくだ



さい。アメリカ人で19歳です。聖隷は美しい学校です。ここにきて嬉しです。誰もが親切です。自転車で

学校にきています。最初はバスで来ていました。

授業はとても面白くて楽しいです。私は日本が好きです。アメリカの食べ物は日本の食べ物ほど好きではありません。日本でいろいろなものを見たいです。また、日本の伝統文化についても学びたいです。

お祭りに行きました。そして屋台を見ました。出店の食べ物が美味しかった。たくさんお寺に行きました。臨済宗方広寺派大

本山を見ました。また行きたいです。楽しかった。

私はネブラスカ州から来ました。ネブラスカ州は山と海がありません。今、山が好きです。そして、海を見たいです。

たくさん友達を作ることができました。もっと友達を作りたいです。思い出を作りたいです。お招きいただきありがとうございます。よろしくお願ひします。」

聖隷クリストファー大学附属 クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長 おおた まさこ
聖隷クリストファー大学 社会福祉学部こども教育福祉学科長・教授 太田 雅子

プレイデーを開催しました



10月10日、3歳以上児クラスの子どものプレイデーを開催しました。今年度のテーマは「わたしの物語」。子どもたちは日頃から色々な運動遊びにチャレンジして来ました。プレイデーなどの行事は子どもたち

が日々の園生活の中で積み上げてきたことを表わしていく場です。いわば日常保育の「節」となります。皆で心待ちにし、楽しむことを一番としました。この体験が子どもの成長の「節」となり、そうした子どもたちの成長の姿を保護者の方々に見ていただき、皆で喜ぶ時にしたいと考えました。会の終わりでは、子どもたちへのメダルの贈呈を行いました。今年のメダルは親から我が子へのメッセージが書かれているものでした。保護者には当日まで内緒にしてもらい、閉会式の時にメッセージを読み上げながら子どもたちの首にメダルをかけてもらいました。



それぞれのがんばりを認めてもらい、子どもたちは皆大満足の笑みを浮かべていました。

保護者の方々によるプログラムへの参加も年々パワーアップしています。保護者会競技である綱引きやリレーはかなり白熱していました。リレーでは保護者会会長さんがアニメキャラクターのコスチュームを着て走り会場を沸かせていました。子どもたちは大喜びでした。

アフリカの先生たちとの交流

10月6日に、ベナン、ブルキナファソ、チャド、コートジボワール、ニジェールの5カ国から幼児教育に携わる先生方10名の訪問を受けました。保育見学・講義に加えて、5歳児らいおん組の子どもたちとの交流を持ちました。一緒にパラバルーンをしたり、相互に踊り(ヨサコイ・アフリカのダンス)を披露しました。アフリカの先生方に対して、子どもたちは積極的にあいさつや握手をしたりして、物怖じする姿は見られませんでした。

こども園では異言語・異文化に触れる機会を多く設けたいと考えて今まで取り組んできました。課外活動では、英語を使って身体を動かすことやゲームなどの活動も行っています。こうした積み重ねから異なる外観や異なる文化を持つ人々と積極的に関わろうとする姿勢が育って来ているのだと嬉しく感じました。子どもたちが「ハロー」と声を掛けたことに対してアフリカの先生方はフランス語で返事をされました。すると子ど

もたちはすぐさま「ボンジュール」と真似をしながら言葉を交わしていました。子ども時代に色々な言語に出会い、興味・関心を持ったとしたならば、将来自分から外国語を積極的に身につけたい、多様な人々とコミュニケーションを図ろうという気持ちに繋がっていくのだろうと思います。



法人事務局より

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校開校(予定)



大学キャンパス内に専門学校の専用校舎があります。(手前左の2階建校舎)

2016年4月開校予定の「聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校」では、現在の社会的ニーズに応え、介護福祉現場で即戦力となる知識と技術を備えた介護福祉士を2年間で養成し、社会に送り出していきます。本学社会福祉学部と一体となって介護福祉士の養成に取り組むほか、聖隷福祉事業団や近隣社会福祉法人による奨学金制度を用意し、介護福祉士を目指す学生を支援していきます。



普通教室は2階にあります。新しい机やイスが入りました。

特徴

- 1. 大学レベルの教育**
・大学の教員も専門学校の授業を担当
・実習室や図書館等の学習環境を共用
- 2. 多様な進路**
・学びを深めたい学生は大学3年次への編入が可能
- 3. 充実した経済的サポート**
・静岡県内の介護福祉専門学校で最も安い学費
・3つの奨学金制度
- 4. 豊富な就職先**
・多くの卒業生が地域の福祉施設で活躍していることから、将来像を描き、安心して就職を目指すことができます。

奨学金制度

種別	金額	募集人員(1学年)	備考
聖隷介護奨学金	特別奨学金	3万円/月 10名	返還免除あり
	一般奨学金	5万円/月 10名	返還免除あり
クリストファー介護福祉士奨学金	3万円/月	各法人2名	返還免除あり
天竜厚生会介護福祉士奨学金	3万円/月	10名程度	返還免除あり

シミュレーション 1年間の学費 68万円 (授業料+施設費) ▶ 奨学金3万円/月を利用すると... 3万円×12ヵ月= 36万円

約半分まかなえます!

入試日程

入試種別	出願期間	選抜日程
一般入試	第I期	12/ 4(金)~12/12(土) 12/19(土)
	第II期	1/ 4(月)~ 1/20(水) 2/ 2(火)
	第III期	2/10(水)~ 2/23(火) 3/ 3(木)
	第IV期	3/ 4(金)~ 3/12(土) 3/18(金)

※推薦入試・社会人入試は受付終了しています。

2015年度 保護者懇談会を開催しました

本学では、保護者の皆様と大学とのコミュニケーションを図る場として、また本学の教育と取り組みをご理解いただく場として、そして、お子様の学修や学生生活、就職、健康面などについて教職員に直接相談して少しでもご安心いただくことを目的として、後援会の協力のもと、保護者懇談会を毎年開催しています。

今年度は下記の日程で開催し、大変多くの保護者の皆様にご参加いただきました。心より御礼申し上げます。なお、次年度の保護者懇談会の日程は、決定次第ホームページにてお知らせします。今年度ご参加できなかった皆様もぜひご参加いただければ幸いです。

●今年度の開催状況

学部	開催日	参加者数
社会福祉学部	7月4日(土)	社会福祉学科 34組 38名
		介護福祉学科 17組 24名
		こども教育福祉学科 45組 57名
リハビリテーション学部	10月10日(土)	理学療法学科 61組 76名
		作業療法学科 63組 75名
		言語聴覚学科 61組 72名
看護学部	10月24日(土)	看護学科 173組 218名



学科別懇談会の様子(社会福祉学部)



実習室見学の様子(リハビリテーション学部)



全体説明会の様子(看護学部)

プログラム

学科・学年別による説明会・懇談会

昼食

個別相談、学内(実習室等)見学

※説明会・懇談会の形式や見学でご案内する実習室は学部ごとに異なります。

■2015年度科学研究費助成事業 新規採択結果

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)は、人文・社会科学から自然科学までのあらゆる分野にわたり、独創的・先駆的な研究を進展させることを目的とする公募型研究助成制度であり、「競争的研究資金」としては日本国内で最大規模の制度です。

本学でも科学研究費獲得に向けた様々な取り組みを実施し、2015年度は新規に17件の研究課題が採択され、継続課題26件と合わせ、大学として43件の採択件数となりました(研究代表者としての採択件数)。

2015年度の科学研究費助成事業配分額は、全国1300の研究機関の内、253番目となっており、医学部・薬学部を有しない医療・福祉系大学の中ではトップクラスの成績となっています。

また、過去5年の分野別新規採択累計件数において、「子ども学」は東京大学・国立研究開発法人放射線医学総合研究所などに次ぐ全国4位、「高齢看護学」は東京医科歯科大学・埼玉県立大学に次ぐ全国9位となっています*。

※文部科学省「平成27年度科学研究費助成事業の配分について」
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1361986.htm(参照:2015年11月26日)

学部	学科・領域	職位	研究代表者	研究種目	研究課題
看護	基礎看護学	教授	藤井徹也	萌芽	性同一性障害を有する高校生が自認している性で過ごせる学校環境整備と親への支援
		助教	炭谷正太郎	萌芽	輸液看護におけるPICC技術導入プログラムの開発
	成人看護学	教授	豊島由樹子	萌芽	地域包括ケアシステムに向けた医療療養病棟における在宅療養移行支援の看護モデル開発
		助教	氏原恵子	萌芽	手術を勧められた若年性子宮頸がん患者の情報リテラシー能力育成プログラムの構築
	老年看護学	助教	内藤智義	若手(B)	特別養護老人ホームにおける認知症高齢者への排便ケアモデルの構築に関する研究
	母性看護学	助教	室加千佳	若手(B)	NICU在宅移行時の家族エンパワーメントプログラムの開発
	精神看護学	准教授	小平朋江	基盤(C)	統合失調症の闘病記における回復過程のテキストマイニングと内容分析
	在宅看護学	助教	田中悠美	若手(B)	要介護高齢者の自然排泄移行に向けた訪問看護実践モデル開発のための基礎的研究
	養護	助教	高橋佐和子	萌芽	養護教諭による学校教職員のメンタルヘルス支援モデル開発—承認しあう組織風土の創造
	教養・専門基礎	准教授	安田智洋	基盤(C)	血流制限下の簡易筋力トレーニングによるサルコペニア予防・治療法の開発
社会福祉	介護福祉学科	准教授	野田由佳里	基盤(C)	動作分析による腰痛予防に着目した移乗介護技術習得のためのセルフチェック法の開発
	こども教育福祉学科	准教授	柴崎かがり	若手(B)	幼児のジェンダーステレオタイプの発達プロセス:日本と英国における比較研究
リハビリテーション	理学療法学科	教授	大城昌平	基盤(B)	新生児医療におけるディベロップメンタルケアの展開と専門職養成の循環システムの構築
		准教授	吉本好延	若手(B)	地域在住脳卒中患者の転倒予測システムの開発
	言語聴覚学科	教授	柴本 勇	基盤(C)	水分及び固形物摂食時の舌骨上筋群の表面筋電位パタン解析
	教養・専門基礎	教授	津森伸一	基盤(C)	問題文の表現内容に起因する難易度を考慮した計算問題演習システムの開発
聖隷浜松病院	臨床教授	田中篤太郎	基盤(C)	う蝕原性細菌による脳血管疾患悪化に対する臨床調査と高リスク者簡易同定法の確立	

科学研究費の研究種目

基盤研究

1人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究(期間3~5年)
応募額によりA・B・Cに区分
(A)2,000万円以上5,000万円以下
(B)500万円以上2,000万円以下
(C)500万円以下

若手研究

39歳以下の研究者が1人で行う研究(期間2~4年)
応募額によりA・Bに区分
(A)500万円以上3,000万円以下
(B)500万円以下

挑戦的萌芽研究

独創的な発想に基づく、挑戦的で高い目標設定を掲げた芽生え期の研究(期間1~3年)
1課題500万円以下

■2015年度学外助成金 新規採択結果(科学研究費以外)

学部	学科・領域	職位	研究代表者	助成制度名称	研究課題
看護	母性看護学	助教	室加千佳	平成27年度 聖隷浜松病院看護部研究助成金	NICUを退院した家族へのグリーフケアの検討
リハビリテーション	作業療法学科	助教	建木 健	三井住友海上福祉財団 研究助成	脳損傷者の自動車運転時の注視行動の特性研究

売店 クリスタアをご利用ください



本学では、後援会の補助のもと、大学2号館2階で売店「クリスタア」を運営しています。この「クリスタア」は、どなたでもご利用いただけます。ご来学の際はぜひご利用ください。今回は「クリスタア」の様子とスタッフの声をご紹介します。

営業時間/平日10:00~18:40

スタッフより



学生さんたちが毎日来店してくれてもあきないよう品揃えを工夫したり、お菓子・デザート類も充実させて、ほっとひと息つけるような雰囲気作りを心がけています。お気軽にお立ち寄りくださいませ。

●充実した品ぞろえ!

新商品や売れ筋商品を中心に商品を選んでいきます。特にアイスの品揃えは充実しています。学生さんからの要望にもできる範囲でお応えしていますので、お気軽にスタッフまで声をかけてください。

●午前中の来店がおすすめ!

1日の中でも、お昼の時間が一番混雑します。午前中(特に11時00分~11時45分頃)は混雑が少なく、商品も豊富に揃っていますので、ぜひお越しください。

●月・木曜日は特売日!

毎週月曜日と木曜日に特売品を用意しています。月曜日はパン、木曜日はデザートで、毎回違う商品を90円で販売しています。ぜひご利用ください。

保護者満足度調査アンケートのご協力をお願い

12月下旬、後援会より全学部学生の保護者様宅へ「保護者満足度調査アンケート用紙」をお送りします。大学の改善・改革につなげるため、是非回答にご協力くださいますようお願いいたします。なお、郵便によるメ切は1月15日(金)、インターネットによる回答のメ切は1月17日(日)です。大学1号館1階総務部前にも回収BOXを設けています。本調査は無記名で実施いたします。率直なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

保護者の皆様へ
お知らせ

高齢社会における家族扶養と社会的対応について

社会福祉学研究科 教授 そめや よしこ 染谷 淑子

- 学歴：Ph.D, in Social Work and Social Research, Bryn Mawr College, USA.
- 主な所属学会：日本老年社会科学会、日本家族社会学会、福祉社会学会、日本社会学会、Active Aging Consortium in Asia Pacific



であると考え、過疎地域の高齢者の研究に取り組み、その後も高齢者研究が続いています。

Q2 大学院ではどのような学びができますか？

社会福祉の現場で直面する課題について、その問題の生じる背景と原因等を客観的に捉え、理論的に課題を捉え、考察し、思考する力を構築することができます。実際には、問題意識をどのように発展させ、どのように整理し、論理的に物事を考え、自分の考えを築くか、というプロセスを学ぶことができます。そして、それをどのように発表するか、という方法も学ぶことができます。

Q3 現在取り組まれている研究や活動について教えてください。

世界の最先端を行く日本の超高齢社会の課題を、老親扶養と社会福祉政策との関連から考察することです。また、近年急速に社会変貌が進み、人口高齢化が進むアジア諸国の現状と課題を探究し、現在どのように高齢者扶養がなされているのか。そして、今後どのようにこの重要な課題に対応しようとしているのか。これらの課題を社会福祉政策と家族関係から考察し、比較研究を行っています。

Q1 先生の学びのきっかけと専門分野について教えてください。

明治学院大学大学院社会学研究科の修士を終え、東京都の公務員試験を通り、東京都老人総合研究所社会学部の研究助手に就任し、「研究職」という単純な理由で高齢者研究が始まりました。当時20歳代前半の私にとって、高齢者研究は大変重たい課題で、アメリカ留学が決まった時には、家族研究に変更する予定でした。しかし、アメリカで学び始めると高齢者研究が盛んで、今後の重要テーマであることを認識し、再び高齢者研究に取り組むようになりました。

帰国後に赴任した鹿児島県は、全国第3位の高齢県で、しかも高齢者の子ども家族との別居率が全国第1位でした。一般的には、大都市とその周辺地域が高齢者の別居率が高いのですが、鹿児島県の過疎地では、東京以上に子どもとの別居率が高く、この状況は、あたかも“将来の日本の姿”



2015年10月、香港の香港科技大学に招かれ、「日本の高齢者福祉対策」をテーマにワークショップを行いました。(写真中央が染谷教授)

研究マメ知識



長寿化と老親扶養、高齢期の自立等の課題は、全ての人に関わっています。高齢者福祉がどのような状況にあるかを学ぶことは、親の扶養、自分自身の老後への対応に直接役に立つ知見となります。

健康管理センターより

インフルエンザの予防について



インフルエンザを予防するためには…

インフルエンザを予防するためには手洗い・うがいはもちろん、流行前のワクチン接種が有効です。ワクチン接種は、感染後に発病する可能性を低減させる効果と、インフルエンザにかかった場合の重症化防止に有効と報告されています。毎年学内では近隣医療機関の協力で希望者に対してインフルエンザワクチンの接種を行っています。今年は11月18日に行い、学生・教職員449名が受けました。まだ接種していない方で希望する場合は地域の医療機関、かかりつけ医などで12月中に受けるようにしましょう。

インフルエンザと診断された時は…

- ①登校せずに速やかに電話で大学に連絡してください。
連絡先／053-439-1433(教務事務センター)または053-436-3016(健康管理センター)
- ②学校保健安全法に基づき『出席停止』とします。
出席停止期間は医師が感染の恐れがないと認めるまでの期間です。出席停止の扱いについては教務事務センターのホームページで確認してください。
- ③完治し登校を再開する時に「治癒証明書※」を教務事務センターに提出してください。
※教務事務センターまたは健康管理センターのホームページからダウンロードできます。
教務事務センター <http://blg.seirei.ac.jp/cloffice/>
健康管理センター <http://blg.seirei.ac.jp/healthcenter/>

インフルエンザにかかったら安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。

新任教員の紹介

- ①出身校 ②前勤務先 ③専門分野 ④メッセージ



看護学部看護学科(基礎看護学)

助教 しばた 柴田 めぐみ

①愛知県立大学大学院看護学研究科修士課程②JA静岡厚生連 遠州病院③基礎看護学④助産師経験、救急・ICUでの臨床経験を活かし、聖隷の精神にあるように、人を大切に思う心や人に寄り添う看護を伝えていきたいと思っています。よろしくお願いします。



看護学部看護学科(老年看護学)

助教 まつおか あき 松岡 亜希

①神戸大学大学院保健学研究科博士前期課程②国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター③老年看護学④こんにちは。高齢者ケアを学ぶのに恵まれた実習環境の中、臨床の経験を活かして、一生懸命に頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



Graduation Ceremony INFORMATION

今年度の卒業式・卒業パーティは3月8日(火)に行います

「2015年度卒業式・修了式」はアクティビティ浜松中ホールにて、「卒業パーティ」はグランドホテル浜松にて、2016年3月8日(火)に行います。

卒業年次生の保護者の皆様には、追ってご案内状をお送りします。多くの保護者の皆様のご出席をお待ちしております。

2015年度 国家試験日程

	試験日	合格発表日
看護師	2016年 2/14(日)	2016年 3/25(金)
保健師	2016年 2/16(火)	2016年 3/25(金)
助産師	2016年 2/17(水)	2016年 3/25(金)
社会福祉士	2016年 1/24(日)	2016年 3/15(火)
精神保健福祉士	2016年 1/23(土) 1/24(日)	2016年 3/15(火)
理学療法士	2016年 2/28(日)	2016年 3/29(火)
作業療法士	2016年 2/28(日)	2016年 3/29(火)
言語聴覚士	2016年 2/20(土)	2016年 3/28(月)